

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第1部門第2区分
【発行日】平成16年11月4日(2004.11.4)

【公開番号】特開2001-8896(P2001-8896A)
【公開日】平成13年1月16日(2001.1.16)
【出願番号】特願平11-184703
【国際特許分類第7版】
A 6 1 B 3/00
H 0 4 R 1/00
【F I】
A 6 1 B 3/00 Z
H 0 4 R 1/00 3 1 7

【手続補正書】
【提出日】平成15年11月4日(2003.11.4)
【手続補正1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項1】

被検眼を検査するための検査光学系を備える眼科装置において、被検者の顔部に当接する顔当接部と、該顔当接部に設けられた骨導音伝達用の振動子と、被検者に与える情報を骨導音として伝達すべく前記振動子を振動する制御手段と、を備えることを特徴とする眼科装置。

【請求項2】
請求項1の眼科装置において、前記検査光学系による検査を進行するためのプログラムであって被検者をガイドするガイド情報を含むプログラムを記憶する記憶手段を備え、前記制御手段は記憶されたプログラムに従い前記ガイド情報を骨導音として伝達すべく前記振動子の振動を制御することを特徴とする眼科装置。

【請求項3】
請求項1の眼科装置において、検者の音声を入力する音声入力手段を備え、前記制御手段は入力された音声を骨導音として伝達すべく前記振動子の振動を制御することを特徴とする眼科装置。

【請求項4】
請求項1の眼科装置は、被検者に与える音声情報を音声として発生する音声発生手段と、該音声発生手段による音声発生と振動子による骨導音の発生とを選択的に切替える切換手段と、を備えることを特徴とする眼科装置。

【手続補正2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0008
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0008】

(1) 被検眼を検査するための検査光学系を備える眼科装置において、被検者の顔部に当接する顔当接部と、該顔当接部に設けられた骨導音伝達用の振動子と、被検者に与える情報を骨導音として伝達すべく前記振動子を振動する制御手段と、を備えることを特徴とする。

(2) (1) の眼科装置において、前記検査光学系による検査を進行するためのプログラムであって被検者をガイドするガイド情報を含むプログラムを記憶する記憶手段を備え、前記制御手段は記憶されたプログラムに従い前記ガイド情報を骨導音として伝達すべく前記振動子の振動を制御することを特徴とする。

(3) (1) の眼科装置において、検者の音声を入力する音声入力手段を備え、前記制御手段は入力された音声を骨導音として伝達すべく前記振動子の振動を制御することを特徴とする。

(4) (1) の眼科装置は、被検者に与える音声情報を音声として発生する音声発生手段と、該音声発生手段による音声発生と振動子による骨導音の発生とを選択的に切替える切替手段と、を備えることを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】